

2009年3月期 第1四半期決算説明会

井関農機株式会社

副社長 南 健治

2008年8月21日

目次

1. 2009年3月期 第1四半期業績の概要
2. 国内外市場の動向
3. 2009年3月期 業績予想
第2四半期累計業績予想の修正
4. トピックス

※当社四半期業績と季節性の留意点

1. 連結各社の決算期

	決算期	(第1四半期)
販売会社 13社、営業関連会社 1社、 及び井関農機(常州)有限公司	12月31日	(1~3月)
井関農機 及びその他関連会社 14社	3月31日	(4~6月)

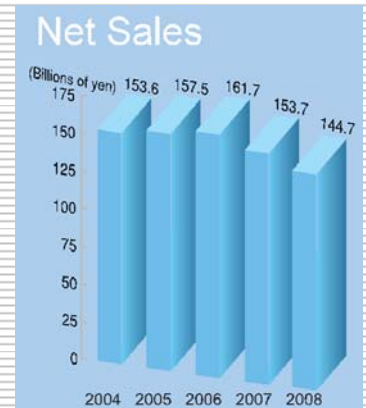
2. 売上高の季節性 (2008/3期実績)

(単位：億円)

	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	計
国内	264	354	301	308	1,227
海外	35	59	48	78	220
計	299	413	349	386	1,447
(%)	(21)	(29)	(24)	(27)	(100)

(特徴) ・ 第1四半期の売上高が他の四半期よりも少ない。

1. 2009年3月期 第1四半期業績の概要



第1四半期業績の概要

(単位：億円、%)

科 目	07/1Q 実績		08/1Q 実績		前年 同期比 増減	08/1Q 計画	計画比 増減
	金額	比率	金額	比率			
売上高	299	100.0	323	100.0	+24	323	-
(国内)	264	88.2	270	83.6	+6	271	△1
(海外)	35	11.8	53	16.4	+18	52	+1
売上総利益	99	33.3	101	31.3	+2	101	-
販管費	106	35.5	106	32.9	-	107	△1
営業利益	△7	△2.2	△5	△1.6	+2	△6	+1
経常利益	△5	△1.7	△4	△1.3	+1	△9	+5
四半期純利益	△4	△1.5	△5	△1.6	△1	△11	+6

国内売上高の内訳

(単位：億円)

	07/ 1Q 実績	08/ 1Q 実績	前年 同期比		08/ 1Q 計画	計画比	
			増減	備考		増減	備考
整地機	75	74	△ 1		75	△ 1	
栽培機	27	34	+ 7	田植機：+7	33	+ 1	
収穫調製機	37	40	+ 3	コバイン：+1	38	+ 2	
農業機械計	139	148	+ 9		146	+ 2	
作業機・部品	55	59	+ 4		57	+ 2	
施設工事	3	2	△ 1		1	+ 1	
農機関連 ^(*1)	40	37	△ 3		44	△ 7	
その他 ^(*2)	27	24	△ 3		23	+ 1	
合計	264	270	+ 6		271	△ 1	

*1 修理収入、農業用資材等

*2 コイン精米収入等

海外売上高の内訳

(単位：億円)

	07/ 1Q 実績	08/ 1Q 実績	前年 同期比 増減	備 考	08/ 1Q 計画	計画比 増減
北 米	3	18	+15	OEM先へトヨタ出荷増加	17	+ 1
欧 州	24	22	△ 2		23	△ 1
アジア	4	4	-		5	△ 1
(内、中国) *	(0)	(1)	(+ 1)		(1)	-
オセアニア	1	3	+ 2		2	+ 1
製品 計	32	47	+15		47	-
部品その他	3	6	+ 3	Eg : + 2	5	+ 1
合 計	35	53	+18		52	+ 1

* 中国の売上は1~3月の実績

営業利益

(単位：億円、%)

科目	07/1Q 実績		08/1Q 実績		前年 同期比 増減	08/ 1Q 計画	計画比 増減
	金額	比率	金額	比率			
売上高	299	100.0	323	100.0	+24	323	-
売上原価	200	66.7	222	68.7	+22	222	-
売上総利益	99	33.3	101	31.3	+2	101	-
販管費	106	35.5	106	32.9	-	107	△1
営業利益	△7	△2.2	△5	△1.6	+2	△6	+1

※前年同期比

[減益要因]	・在庫評価法の変更による影響	: △4
	・為替レート差	: △2
	・原材料価格高騰	: △2
	・棚卸資産評価基準および評価方法の変更による影響	: △2
	・その他	: △1
[増益要因]	・増収による粗利増	: +8
	・リストラ効果	: +5

経常利益、四半期純利益

(単位：億円)

	07/1Q 実績	08/1Q 実績	前年 同期比 増減	08/1Q 計画	計画比 増減
営業利益	△ 7	△ 5	+ 2	△ 6	+ 1
金融収支	△ 3	△ 3	-	△ 4	+ 1
その他営業外収支	5	4	△ 1	1	+ 3
経常利益	△ 5	△ 4	+ 1	△ 9	+ 5
特別利益	8		△ 8		-
特別損失	△10	△ 2	+ 8	△ 2	-
税前利益	△ 7	△ 6	+ 1	△11	+ 5
税、税調整額	3	1	△ 2		+ 1
四半期純利益	△ 4	△ 5	△ 1	△11	+ 6

※前年同期比増減要因 [特別利益] 有価証券売却益：△7、その他：△1
 [特別損失] 特別退職加算金：+9、その他：△1
 ※計画比増減要因 [その他営業外収支] 為替差益 : +2、その他：+1

バランスシート

(単位：億円)

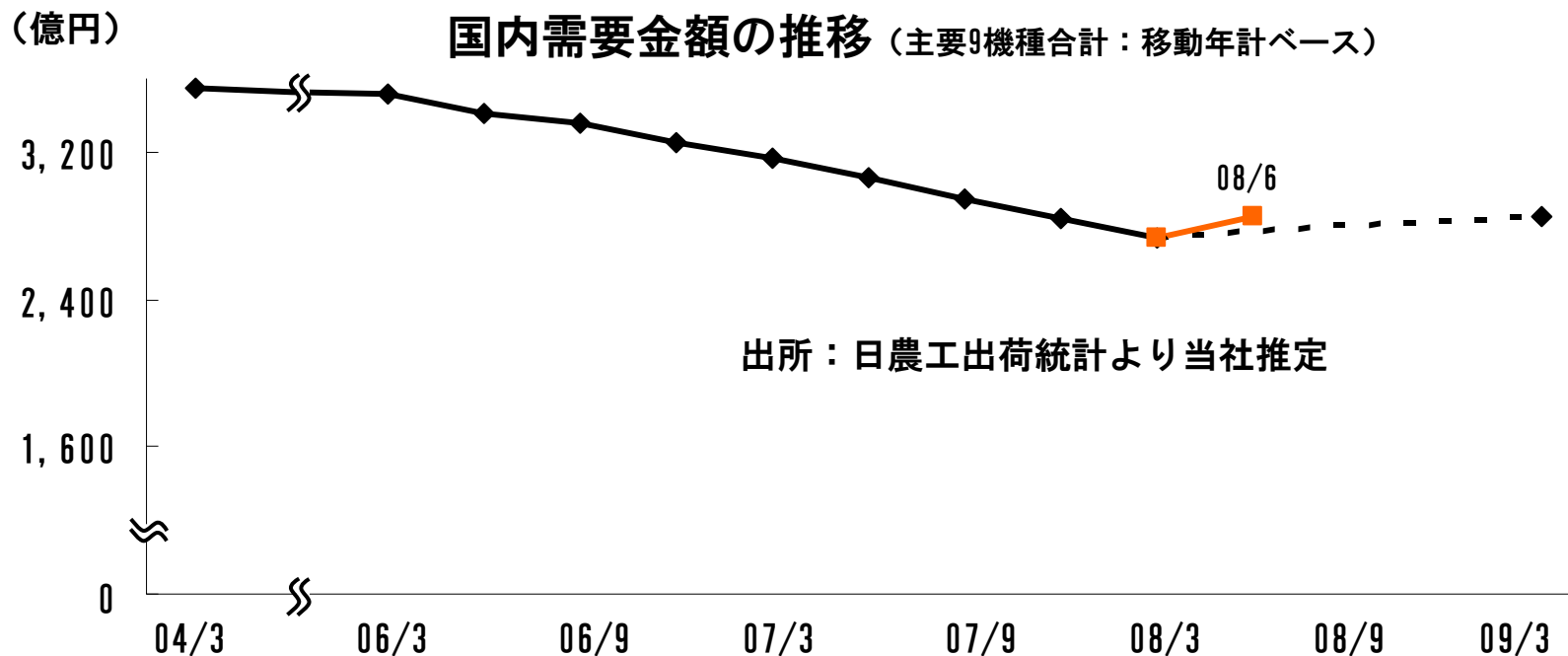
科 目	07/6 実績	08/6 実績	前年同期比 増 減	(ご参考) 08/3実績
現金・預金	73	82	+ 9	58
売掛債権	324	358	+34	289
棚卸資産	486	423	△63	426
(うち製品在庫)	(302)	(255)	(△47)	(271)
その他流動資産	43	26	△17	34
固定資産	941	925	△16	925
資産合計	1,867	1,814	△53	1,732
借入金・社債	688	690	+ 2	579
その他負債	630	601	△29	628
(負債計)	(1,318)	(1,291)	(△27)	(1,207)
純資産	549	523	△26	525
(うち利益剰余金)	(51)	(36)	(△15)	(41)
負債・資本合計	1,867	1,814	△53	1,732

2. 国内外市場の動向



国内農機需要の推移

農機需要の推移（見通し）



- (1) 世界的な食料需要ひっ迫化による穀物価格の高騰
- (2) 食料自給率向上にむけて、政府取り組みを強化
非主食米に注目（小麦代替として米粉の活用、飼料米の増産）
- (3) 農業資材（肥料等）高騰、原油高騰
- (4) 下期、農機メーカー一値上

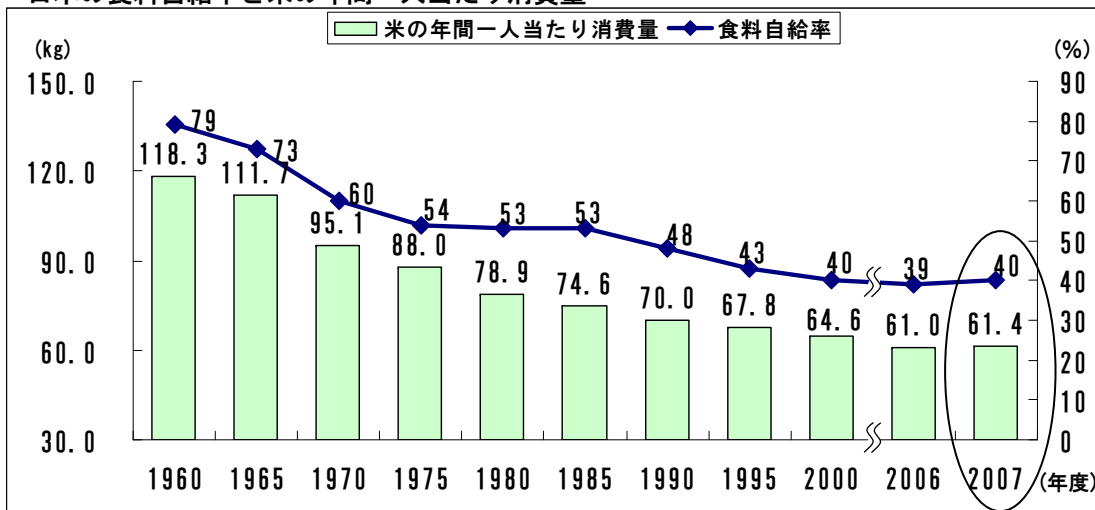
国内農政の動き

[食料自給率向上にむけての動向]

- ・ 「21世紀新農政2008」食糧自給率向上目標45%。米粉・飼料米の活用を本格化
- ・ 07/08年米の需要実績、見通しを20万t上回る853万tと発表
- ・ 2007年度食料自給率40%へ回復（39%から1ポイント上昇）
- ・ 食料自給率目標を45%から50%へ上方修正。年内に50%の達成を目指す工程表を作成

出典：農林水産省公表資料より抜粋

日本の食料自給率と米の年間一人当たり消費量



出典：農林水産省 各統計情報より抜粋

- ・ 2007年度は米の年間一人当たり消費量が増加

61.0kg → 61.4kg

∴食料自給率 39% → 40%

国内農機市場の状況

国内農機業界出荷と当社実売

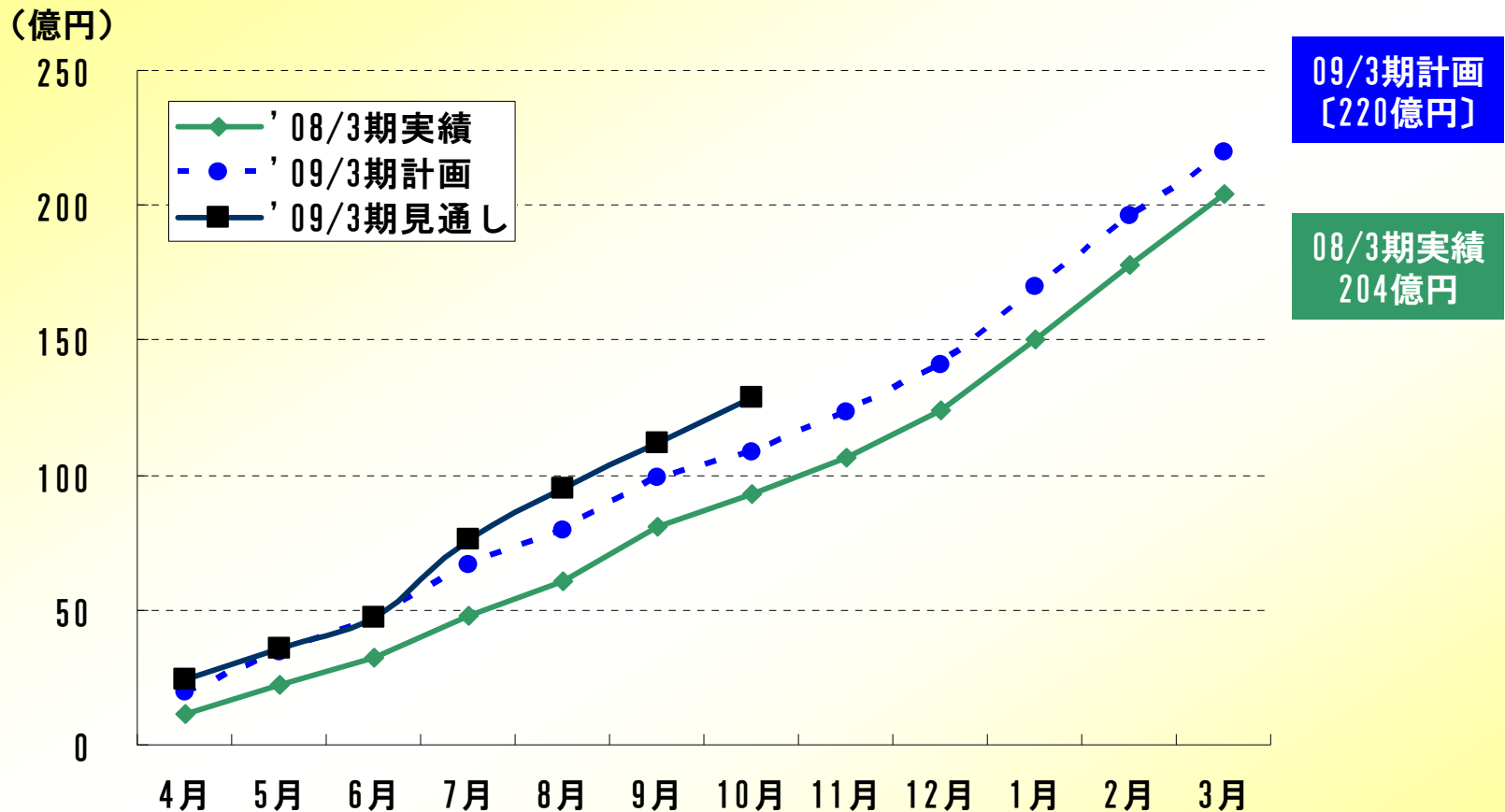
※主要9機種金額ベース、前年同期比伸長率（単位：％）

	07年 1月～6月	08年 1月～6月	07年7月～ 08年6月
業界（出荷）*	89	100	93
当社（実売）	89	111	100

*日農工出荷統計より当社推定

- ・ 業界出荷は1～6月対比で前年並みに回復。
- ・ 当社は田植機などの新商品効果および、一時期落ち込みの激しかったトラクタ、コンバインが回復基調。

海外製品売上の直近の状況



* 09/3期見通し：4～10月は受注ベース

海外市場の動向（北米）

1. 北米コンパクトトラクタ市場 ※エンジン50PS (PT040PS) 以下、芝刈機は含まない。

	07/1~7月	08/1~7月	前年同期比	
				(%)
米 国	77	66	△11	87
カナダ	7	9	+ 2	121
北米 計	84	75	△ 9	90

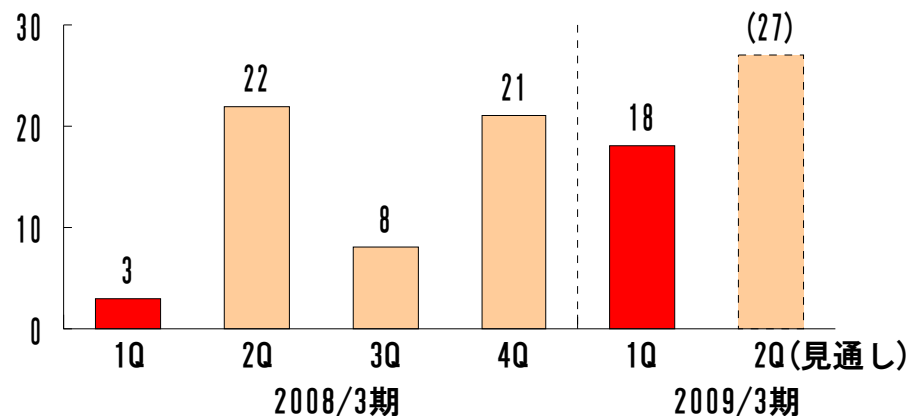
(単位：千台)

出所：AEM統計（米国機器製造者団体：Association of Equipment Manufacturers）

2. 当社出荷の推移（北米）

- ・ 当社の出荷は回復。

(単位：億円)



海外市場の動向（欧州）

1. 欧州市場の動向

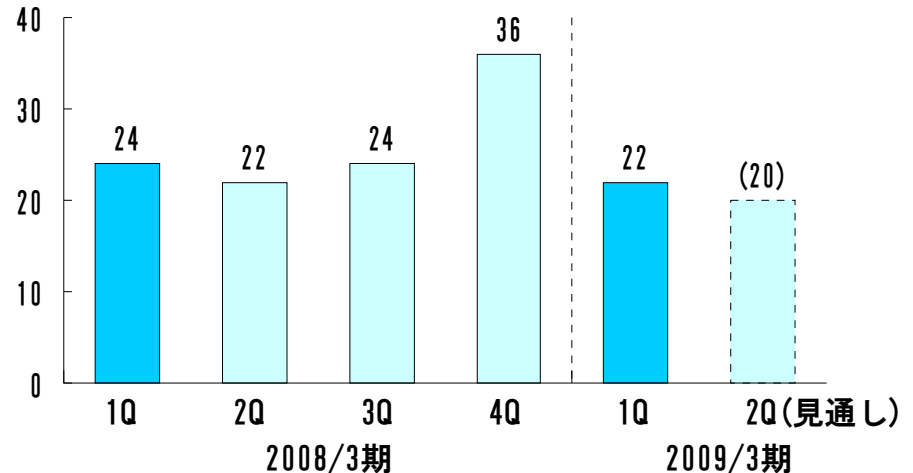
景観整備市場

- ・ プロ市場は、全般的に堅調に推移
- ・ コンシューマー製品はインフレの影響で需要減

2. 当社出荷の推移（欧州）

- ・ 当社出荷は、代理店の実売状況の影響を受け、若干遅れ気味。好調な商品を中心に下期挽回を図る。
- ・ 今後、東中欧に販路拡大。

（単位：億円）



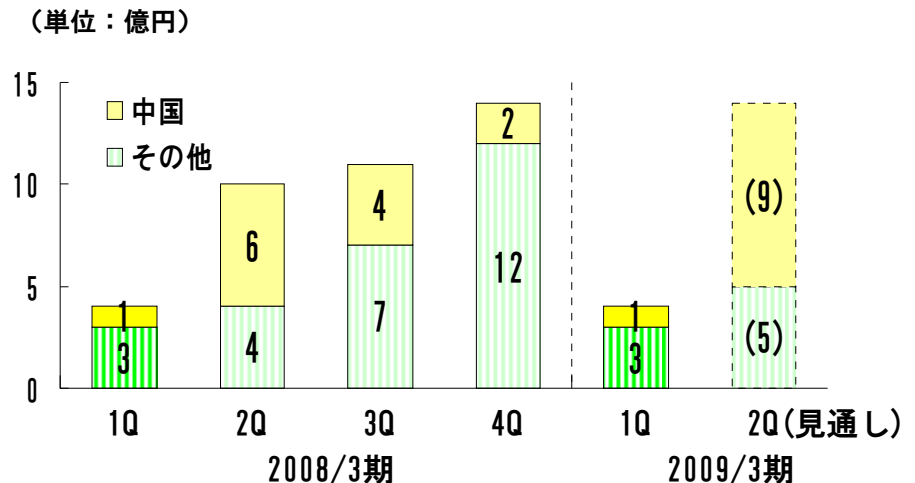
海外市場の動向（アジア）

1. アジア市場の動向

- ・ 中国 農業機械化政策の推進に伴い市場拡大。田植機続伸
- ・ 東南アジア 世界的な穀物価格上昇による農機需要拡大

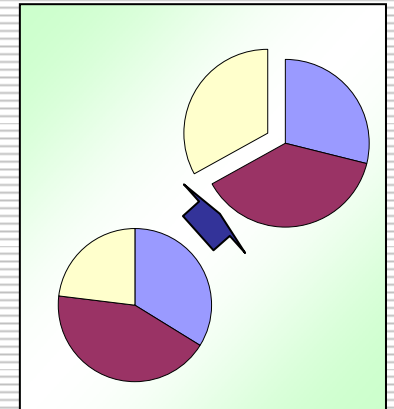
2. 当社製品売上の推移（アジア）

- ・ 中国 市場の拡大にあわせ田植機が続伸。
- ・ 韓国 昨年出荷した大型トラクタの実売が好調。
- ・ タイ 高馬力化にあわせ、38HPトラクタを投入。



3. 2009年3月期業績予想

第2四半期累計業績予想の修正



2009年3月期 業績予想の修正

(単位：億円)

科 目	09/3				増減		08/3		増減	
	当初予想		今回予想		2Q累計	通期	実績		2Q累計	通期
	2Q累計	通期	2Q累計	通期			2Q累計	通期		
売上高	745	1,545	760	1,545	+15	-	712	1,447	+48	+98
(国内)	636	1,305	636	1,305	-	-	618	1,227	+18	+78
(海外)	109	240	124	240	+15	-	94	220	+30	+20
営業利益	0	33	5	33	+5	-	△3	7	+8	+26
経常利益	△6	19	2	19	+8	-	△4	0	+6	+19
当期純利益	△14	6	△6	6	+8	-	△22	△15	+16	+21

※想定為替レートは、米ドル：105円、ユーロ：155円

- ・ 国内外の販売動向を踏まえ第2四半期累計業績予想を修正。
- ・ 通期は今後の市場動向ならびに原材料価格などの不透明感から変更せず。

業績予想の修正（国内売上高の内訳）

（単位：億円）

	09/3				増減		08/3		増減	
	当初予想		今回予想		2Q累計	通期	実績		2Q累計	通期
	2Q累計	通期	2Q累計	通期			2Q累計	通期		
整地機	164	280	166	280	+ 2	-	164	269	+ 2	+11
栽培機	77	123	80	123	+ 3	-	74	115	+ 6	+ 8
収穫調製機	75	257	76	257	+ 1	-	67	242	+ 9	+15
農業機械計	316	660	322	660	+ 6	-	305	626	+17	+34
作業機・部品	153	295	153	295	-	-	145	279	+ 8	+16
施設工事	15	58	12	58	△ 3	-	18	40	△ 6	+18
農機関連	100	182	100	182	-	-	97	176	+ 3	+ 6
その他	52	110	49	110	△ 3	-	53	106	△ 4	+ 4
合計	636	1,305	636	1,305	-	-	618	1,227	+18	+78

* 整地機 : トラクタ、管理機等
 栽培機 : 田植機、野菜移植機
 収穫調製機 : コンバイン、乾燥機、籾摺機等

農機関連 : 修理収入、農業用資材等
 その他 : コイン精米収入、一般商品等

業績予想（海外売上高の内訳）

（単位：億円）

	09/3				増減		08/3 実績	増減		
	当初予想		今回予想		2Q累計	通期		2Q累計	通期	
	2Q累計	通期	2Q累計	通期						
北 米	32	65	45	65	+13	-	25	54	+20	+11
欧 州	47	108	42	108	△ 5	-	46	106	△ 4	+ 2
アジア	15	40	18	40	+ 3	-	14	39	+ 4	+ 1
（内、中国）	（ 10）	（ 18）	（ 10）	（ 18）	-	-	（ 7）	（ 13）	+ 3	+ 5
豪州他	5	7	7	7	+ 2	-	2	5	+ 5	+ 2
海外製品計	99	220	112	220	+13	-	87	204	+25	+16
部品その他	10	20	12	20	+ 2	-	7	16	+ 5	+ 4
合 計	109	240	124	240	+15	-	94	220	+30	+20

※想定為替レートは、米ドル：105円、ユーロ：155円

業績予想（営業利益の内訳）

（単位：億円）

科 目	09/3				増減		08/3		増減	
	当初予想		今回予想		2Q累計	通期	実績		2Q累計	通期
	2Q累計	通期	2Q累計	通期			2Q累計	通期		
売上高	745	1,545	760	1,545	+15	-	712	1,447	+48	+98
(国内)	636	1,305	636	1,305	-	-	618	1,227	+18	+78
(海外)	109	240	124	240	+15	-	94	220	+30	+20
売上原価	520	1,058	532	1,058	+12	-	495	996	+37	+62
売上総利益	225	487	228	487	+3	-	217	451	+11	+36
販管費	225	454	223	454	△2	-	220	444	+3	+10
営業利益	0	33	5	33	+5	-	△3	7	+8	+26

【営業利益増減要因】

増収による粗利増加	: +3
販管費圧縮	: +2

業績予想 (經常利益、当期純利益)

(単位：億円)

	09/3				増減		08/3		増減	
	当初予想		今回予想		2Q累計	通期	実績		2Q累計	通期
	2Q累計	通期	2Q累計	通期			2Q累計	通期		
営業利益	0	33	5	33	+ 5	-	△ 3	7	+ 8	+26
金融収支	△ 7	△13	△ 7	△13	-	-	△ 6	△12	△ 1	△ 1
その他営業外収益	4	7	6	7	+ 2	-	7	14	△ 1	△ 7
その他営業外費用	△ 3	△ 8	△ 2	△ 8	+ 1	-	△ 2	△ 9	-	+ 1
經常利益	△ 6	19	2	19	+ 8	-	△ 4	0	+ 6	+19
特別利益		1	1	1	+ 1	-	10	15	△ 9	△14
特別損失	△ 3	△ 6	△ 4	△ 6	△ 1	-	△16	△20	+12	+14
税、税調整額	△ 5	△ 8	△ 5	△ 8	-	-	△12	△10	+ 7	+ 2
当期純利益	△14	6	△ 6	6	+ 8	-	△22	△15	+16	+21

4. トピックス

1. 7月1日 営業本部 低コスト農業応援室設置

- ・ 疎植栽培
- ・ うね内部分施用機開発：UBS21(仮称)

2. 知的財産について

低コスト農業への取り組み

1. 疎植栽培

- ・ 疎植栽培とは坪当たりの植え付け株数を従来より減らして育てる栽培方法。

当社疎植栽培： 1坪当たり 37株
(従来：60株～80株)



- ・ 収穫量同等以上
- ・ 育苗コスト半減
- ・ 労働時間軽減



農家のメリット

- ・ 収入確保
- ・ 規模拡大

- ・ 当社は約9年に亘るノウハウの蓄積 → ISEKIオリジナル栽培技術の確立

実験圃場：北海道を除く地域 2,328haで実証

今後は技術顧問の増員、栽培アドバイザーの設置および各セールスの疎植栽培に関するレベルアップを図る

2. 露地野菜向け、うね内部分施用機開発：UBS21 (仮称)

7月17日(独)農業・食品産業技術総合研究機構
(農研機構)と共同開発したUBS21を発表。
今期試験販売、来期から本格販売。

キャベツやハクサイ等葉菜類生産において、うね
中央部の作物に効果がある範囲だけに肥料や薬剤
を混合。



肥料・農薬混合部

肥料は従来の30%減、農薬は50%減が可能

知的財産について

1. 全産業特許査定率と順位

*4年連続1位

	2005年	2006年	2007年
特許査定率	83.7%	90.4%	89.3%
全産業順位	1位	1位	1位

※特許査定率 = 特許査定件数 / (特許査定件数 + 拒絶査定件数 + 取下・放棄件数)

2. 分野別公開件数と順位

*7年連続1位

		2004年	2005年	2006年
農林水産分野	件数	409件	339件	328件
	順位	1位	1位	1位

出典：特許庁6月27日公表「特許行政年次報告書2008年版」

将来の見通しに関する記述についての注意

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的风险や不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。
 本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。